

自己点検・自己評価報告書

本校は教職員による自己点検・評価を実施し、その結果についてこの報告書にまとめた。

注：昨年度評価より点数の変更があった場合は赤字で表示している



KONOIKE
GROUP

学校法人翔陽学園
成田航空ビジネス専門学校

2019年6月21日作成

成田航空ビジネス専門学校

2019年6月21日

大項目	中項目	点検の進み 具合・評価	総括・特記事項
基準1 教育理念・ 目的・ 育成人材像	理念・目的・育成人材像は定められているか。	4.8	理念・目的と育成すべき人材像を学校理念として再整理し、分かりやすくかつ具体的に示し、教職員・学生に周知した。
	学校の特色はなにか。	4.7	航空・ホテル・観光業界を担うことが出来る、自立し実践的な人材を育成する。1人1人の個性を見極めて、考える力とコミュニケーション能力を育てるよう指導した。
	学校の将来構想を抱いているか。	4.7	航空・ホテル・観光業界で活躍出来る実践的な人材を育てる事により、社会的に信頼される専門学校学校を目指すとともに、社会の進歩発展に貢献することを明示した。
	全体	4.7	
基準2 学校運営	事務管理費の効率的な支出を行う。	4.1	コストパフォーマンスを検討して、より効率的な予算執行を心がけた。施設・備品の老朽化と学生数増加に対応する為、より費用対効果の高いもの、より優先度の高いものから支出した。
	各種規程類の見直しおよび整備を行う。	4.5	就業規則を中心に見直し、必要な改訂を行った。
	自己点検・自己評価の確実な実施と 第三者評価に対応した評価システムへのステップアップに対する準備	4.3	自己点検・自己評価は2013年度より継続して実施しており、ほぼ定着している。これまでは近隣の千葉県立高等学校に意見を求め評議員会・理事会に報告してきたが、分野別の第三者評価の体制および詳細内容を見ながら更に透明性の向上に努めたい
	全体	4.3	
基準3 教育活動	事務処理の迅速化・効率化。 業務スケジュールをスタッフ間で共有し、お互いにサポートできる体制とする。	4.3	必要に応じて教務ミーティングを随時行い情報共有を図った。講師会及び非常勤を含む担当講師のミーティングを随時行って、現状及び解決策について情報を共有し、共通認識を持って学生指導に取り組んだ。ICT化を進めるとともに共通データベースを構築する事で更に情報共有を促進した。
	英語力アップ。	4.9	学力強化の時間を利用し、学習習慣の定着を図り、低学力の学生には適宜補習を行った。TOEICIPの年間3回受験により、学生たちの学習方法の見直しの機会を増やしスコアアップにつなげた。

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

成田航空ビジネス専門学校

2019年6月21日

大項目	中項目	点検の進み 具合・評価	総括・特記事項
	就職に役立つ各種検定・資格取得を積極的に受けるよう指導する。	4.9	各種資格試験の重要度を再評価して整理し、全員受験の資格と希望取得とに峻別した。校長賞・奨励賞・受験料補助を整理して受験率を向上させた。
	授業内容を強化する。	4.5	各教科の目標とシラバスを明確にして講師が共有出来るようにした。 個別指導シートを活用して担任、強化担当講師の間の情報共有を強化した。 入社試験を受験した学生たちからの報告や聞き込みで最新の出題内容を把握し、適宜授業内容の調整を行った。 講師・学生の授業アンケート結果を適宜Feed Backし指導方法や内容を強化充実した。
	カリキュラムの内容を、コースの目標を達成する為により実践的な内容にupdateする。	4.6	研究講座、航空観光概論等の専門科目を中心に学習項目及び内容を整理した。 就職活動前に身につけるべき事項と入社前に身につけるべき事項を整理し、ビジネスマナー講座と社会人基礎力養成講座として再編成した。 学生が自分で考え・発表する力を伸ばすよう、Active Learningの定着を図った。
	全体	4.7	
基準4 教育成果	資格取得率の向上が図られているか。	4.6	就職活動に役立つ各種資格のニーズを再評価し、より重要度の高いもの優先して受験をすすめた。 TOEICは必須受験回数を増やして、学生たちの意識を高めた。 また、低学力の学生にはまず英検準2級を取らせることに注力し成果をあげた。
	退学率の低減が図られているか。	4.4	1年次より担任の個別指導と学力強化の時間活用を積極的に行い指導したが、退学者は4名(7.0%)へと増加するにいたった。
	全体	4.5	
基準5 学生支援	「平成30年度 年間計画表」に基づいて実施。	4.8	iPad/Classiを活用した教育指導が定着しつつあり、更に有効に活用する事を目指した。
	2年次担任が担当する単位取得科目を設置。	4.8	これまでの「ロングホームルーム」を「キャリア講座Ⅱ」とし担任が担当する単位取得科目とすることで、出席率をより高め、生活指導的な内容を含む指導に対する学生たちの姿勢を改めさせることができた。
	就職指導の効果的・効率的実施。	4.8	面談、進路相談を継続的に実施、学生が内面・外観共に成長出来るよう指導した。 内定後もモチベーションを高め、更に資格取得、レベルアップを目指させ、効果を上げた。
	クライアントの定期訪問と新規開拓の実施。	4.8	企業との信頼関係は良好に保てた。ナリビ生が各企業で活躍し、離職率も低い事が高く評価されているので、より本校に対する信頼が強くなっている。

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

成田航空ビジネス専門学校

2019年6月21日

大項目	中項目	点検の進み 具合・評価	総括・特記事項
基準5 学生支援	就職率達成目標(100%)を目指す。	5.0	12年連続就職内定率100%達成(但し卒業生の内、特別な事情により就職に時間を要しているケースを除く)
	CA合格者	4.7	2018年度卒は3名がC Aに採用された。
	全体	4.8	
基準6 教育環境	学校を取巻く環境の変化に伴う、学校施設(教室備品等)および、規則(利用、運用規則等)等の検討整備を行う。	4.0	教育効果を向上させる為に必要な施設整備、備品の補充を行なった。 iPadをより活用する為、WiFi環境を改善した。 今後更に、より質の高い教育環境を提供出来るよう、施設、運用の改善を図る。
	全体	4.0	
基準7 学生募集と 受け入れ	専門学校の定員を確保する。	4.7	2019年度は定員の80名の新生を迎えることができた。 引き続き定員確保を図ると共に、より意欲・学力の高い学生を集める。
	オープンキャンパスは平日は随時受付、平日夜間、土曜にも開催し生徒、ご父兄の利便を優先して柔軟に対応する。	4.8	オープンキャンパスを生徒及び父兄の要望に応じ柔軟に対応し、好評であった。 実施内容を見直し、より本校の特色を簡潔にアピール出来るようにした。 開催日は各高校の行事を考慮して変更し、柔軟に対応した。
	高校内での学校説明会・留学生対象の説明会への参加	4.5	高校内説明会は重点校を中心に積極的に対応した。費用対効果の低い会場 アイダスは絞り込んで対応し、遠隔地は資料配布で対象者の情報を入手した。
	紙媒体を減らし、ホームページ、SNSを活用する。	4.8	ホームページ・ベンダーの変更により、ホームページ、スマホサイト、Facebookと連携させて アピールした。 高校生の主流であるTwitterによる情報発信も開始した。
	学校訪問のプライオリティー付け。	4.5	対象校を過去の入学実績等で区別し重点校を中心に学校訪問を行った。
全体	4.7		
基準8 財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4.5	2018年度も黒字を確保した。 2018年度末に寄付金を受領したが、グランドハンド リングコース開設に向けての土地取得、校舎改築等へ効率的に活用する必要がある。
	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4.6	学校の財務体質を強化しつつ、品質をあげる事を目指して年度予算を作成している。 学校会計基準に従い財務諸表を作成し、予算と収支管理を行っている。
	全体	4.6	

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

成田航空ビジネス専門学校

2019年6月21日

大項目	中項目	点検の進み 具合・評価	総括・特記事項
基準9 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4.8	法令、設置基準に抵触する事例はなく、適正に運営した。
	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4.7	個人情報を取り扱う部署に対する教育・指導を実施し、情報漏えいは発生しなかった。
	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	4.6	各年度始めに事業計画を策定し、年度を通じて着実に施策を実施していくことにより課題の克服と改善に繋げている。加えて2013年度より教職員による自己点検・自己評価を継続して実施してきている。
	自己点検・自己評価結果を公開しているか。	4.8	自己点検・自己評価の結果をホームページで公表している。
	全体	4.7	
基準10 社会貢献	地域の行事に積極的に参加し、活性化に寄与すると共に学生に社会との関わりを認識させる。	4.7	成田の3大行事(太鼓祭り、祇園祭り、御利生祭)および地元行事(公津みらい祭、公津フェスタ)に学生がボランティアとして参加し、社会性を学ぶとともに地域社会への貢献を実践した。学生が主体的に動くようにも工夫した。
	英会話教室等を開設し、国際人を育てる事に貢献すると共に、企業等に対してもマナー教育、語学研修等を行い社会貢献しているか。	4.7	これまで続けてきた英語教育が周辺地域の方々に認知されており、幼児から中学生の会員数は昨年より30名増加して417名に達している。(2019年3月現在) 成田国際文化会館と協力して継続実施の「はじめての英会話」(11名)、「道案内の英会話」(15名)に加え、新たに「おもてなし英語」を開講し29名に参加いただいた。企業や教育機関へのマナーや英語教育としては、引き続き地元名店の「なごみの米屋」での研修をはじめ、合計5つの企業様への出張授業を実施している。また地元の4つの幼稚園での出張授業も長期にわたり継続していただいている。
	全体	4.7	

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

自己評価における特記事項

自己評価は学校経営目標・運営実施目標に基づく業務実施計画書に年度達成目標が、どの程度達成されているかを分野別に抜粋したものです。

※別添資料1 専門学校学生数の推移

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
入学生	79	84	81	76	58	60	80
進級者	35	70	70	77	65	60	52
在籍数	114	154	151	153	123	120	132

復学者2名を含む

※別添資料2 平成29年度卒業生就職先

CA	スカイマーク	2	春秋航空日本	1
			小計	3
GS	JALスカイ	3	空港ターミナルサービス <空港案内>	4
	ANA成田エアポートサービス	2	羽田旅客 <空港案内>	2
	FMG	2	成田空港振興協会 <空港案内>	1
	ANAエアポートサービス	1	JAL-DFS <免税>	2
	AIR DO	1	羽田エアポートエンタプライズ <免税>	2
	ANAスカイビルサービス	1	ジェイ・エス・エス <空港保安>	1
	リムジンパッセンジャーサービス	1	グリーンポートエージェンシー <両替>	1
			小計	24
AC	NCAジャパン	3	ANAケーティングサービス <グラハン>	4
	日新エアカーゴサービス	1	ANA成田エアポートサービス <グラハン>	3
	羽田空港グローバルサービス	1	Kグラントサービス <グラハン>	1
	阪急阪神ロジパートナー	1		
			小計	14
HT	日本ホテル	2	パークハイアット東京	1
	ウエスティンホテル東京	2	セルリアンタワー東急	1
	森ビルホスピタリティ	2	ヒルトン成田	1
	ハイアットリージェンシー東京	2	FOUR SIS & Co. <フライタル>	1
	帝国ホテル	1	JR東海パッセンジャース <鉄道旅客>	2
				小計
その他	土井皮膚科クリニック	1		
				小計
			合計	57

※別添資料3

資格		2017年度生	2018年度生	
英語	TOEIC	700以上	10 17%	8 13%
		600-695	15 26%	3 5%
		500-595	7 12%	10 17%
		400-495	11 19%	20 33%
		395以下	13 22%	15 25%
	英検	2級	21 36%	22 37%
	準2級以上	25 43%	20 33%	
中国語		2級	0%	0%
		4級	0%	0%
		準4級	11 19%	0%
韓国語	TOPIK	初級	2 3%	0%
		中級	0%	0%
		上級	0%	0%
日本語(留学生対象)		1級	4 7%	1 2%
PC	PC II種	1級	1 2%	0%
		2級	5 9%	0%
		3級	5 9%	1 2%
	Amadeus	EXP	6 10%	0%
		SPL	22 38%	15 25%
サービス	サービス接遇検定準1級		0%	0%
		2級	4 7%	3 5%
	ホテル実務 Basic 2級	2 3%	1 2%	
	日赤救急法	18 31%	0%	
	アソシエイトホスピタリティ	5 9%	11 18%	
	サービス介助士	38 66%	35 58%	
IATA DIPLOMA	1 2%	0%		

※別添資料4

収益事業会員数(年度末実働数)

	2015	2016	2017	2018
合計	515	536	537	555
幼児	96	78	74	67
小学生	252	291	272	310
中・高生	70	69	96	87
成人	95	96	95	91